

ねりまの散歩道

「ねりまの散歩道」は、身近にある景観を楽しみながら歩く散歩道です。

まちの景観の下地となっているのは、まちの地形や歴史です。ちょっとした坂道の上下りから見えるみどり等にそのまちらしさが隠れています。「歩きたくなるまち 住みつけたくなるまちねりま」に出かけてみませんか。



ホームページでも情報を発信中!

ねりま景観まちづくり

まちあるきに便利な情報が満載です。

- 見どころ
- イベント情報
- マップ etc

地区名で検索すると
周辺の景観情報が
見られます!

【見どころ1172】
大泉学園町の由緒を伝える石神と大...
大泉学園町六丁目25番・26番
投票する

【みどり部門G432】
紅葉映える大泉学園の山頂
大泉学園町七丁目11番
投票する

【みどり部門G431】
おもむきおぼろの森のしだれ桜
大泉学園町六丁目17番
投票する

【みどり部門G424】
森松と門扉
大泉学園町七丁目11番
投票する

【まちかど部門S116】
みどりと石のみち
大泉学園町四丁目27番
投票する

【まちかど部門S113】
ひみつの広げ道 (大泉学園町)
大泉学園町三丁目3番
投票する

<https://nerima-keikan.jp/>

ねりま景観まちづくり

検索

- 1** 石神井公園コース

2 武蔵関公園コース

3 大泉井頭公園コース

4 大泉中央公園コース

5 清水山・稲荷山コース
- 6** 豊玉・高稲荷公園コース

7 中村・向山庭園コース

8 光が丘公園コース

9 城北中央公園コース

発行：練馬区 都市整備部 都市計画課
編集：(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター
発行日：2020年4月1日

2

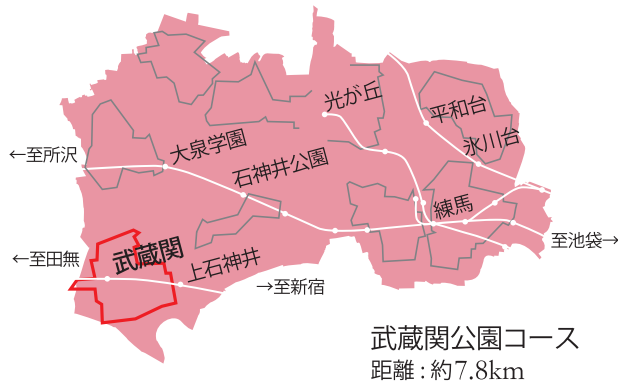
武蔵関公園コース

水とふれあいながらゆったりとくつろぐ

武蔵関公園 コース

水とふれあいながらゆったりとくつろぐ

武蔵関公園コースは、石神井川と千川上水、広大な農地や川沿いのみどりなど、水とみどりが楽しめる散歩道です。斜面地から台地へと地形が変化する中、戦前の区画整理の街並みや農の風景、人々の営みによって培われたみどりの景色を楽しむことができます。



武蔵関公園コース
距離：約7.8km

凡例

- ねりまの散歩道コース
- 📍 景観ポイント
- 🌿 公園・緑地 など
- 🌊 池
- 🌊 川
- 🟡 公共施設など
- 🎓 学校
- 🏯 神社
- 🏯 寺院
- 🚽 WC トイレ
- 坂道 (坂の上) ➤➤➤ (坂の下)



杉並区
0 50 100 200m

ポイント

1 駅前のにぎやかな商店街

武蔵関駅は、近くを石神井川が流れているため、すり鉢状の低地になっています。駅の周辺は商店街、台地上には住宅地と、地形によってまちの光景が異なります。さらに、駅前広場から二又に分かれて続く商店街の賑わいも印象的です。



商店街を西に進むと井口稲荷があり、その先には天祖若宮八幡宮、武蔵関公園と続きます。この道路は駅から公園まで地域を貫く景観上、大事な街路軸です。



ポイント

2 まっすぐな道と視線の抜け (区画整理の直線街路)



戦前の区画整理により造成された地区で、生活道路が直線状に続き見通しがよいのが特徴です。立ち並ぶ住宅の前庭にはみどりが多く、やわらかい印象を与えています。人々が住み続けてきた良好な住宅地の光景が広がります。

ポイント

3 みどりの回廊

天祖若宮八幡宮と武蔵関公園の間の住宅地は、みどりあふれる良好な住宅地の景観となっています。ゆとりある庭先のみどりが神社と公園をつなぐ回廊のようになっています。



ポイント

4 住宅地の裏手に広がる農地

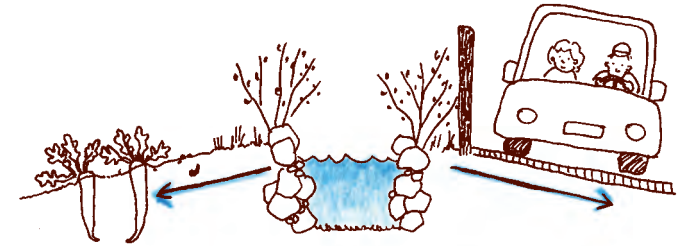
整然とした住宅地の中の路地を一步入ると、裏手に農地が広がっています。

住宅が立ち並ぶ景色から、開放的な空間が広がる農地の景観への変化は、劇的と言えます。



ポイント

5 千川上水の水とみどりの小路



わずかな地形の高低差で地域に水を配る千川上水

通常、川の水は低いところを流れますが、上水路は、地域に広く配水するために人工的に標高の高いところ（尾根道）を通してあります。千川上水は、緑地の空間が広いので気持ち良く、上水路の側道に立つと、道の勾配に沿ってみどりが連なる様子を見ることができます。



ポイント

6 ケヤキ並木のトンネル

青梅街道のケヤキ並木は、両側の枝ぶりが重なり合ってトンネルのようになっています。トンネル状のケヤキ並木は、視界が狭められることで遠近感が強調されて、みどりがより遠くまで続いているように見えます。



ポイント

9 坂の頂からのみどりの眺め



線路の方から歩いてくると、2つの学校の校門辺りで、石神井川を望む坂の頂上となります。両側の校舎の敷地から川にむかって下るみどりの連なりが、とても印象的な眺めです。

ポイント

11 富士街道とケヤキ

富士街道の沿道にあるケヤキ並木は、地域のシンボルとなっています。一定の間隔で立ち並ぶケヤキの木は、道を行き交う人々に一定のリズム感をもたらしています。



ポイント

7 緑道に沿った歩道と自転車レーン



千川緑道

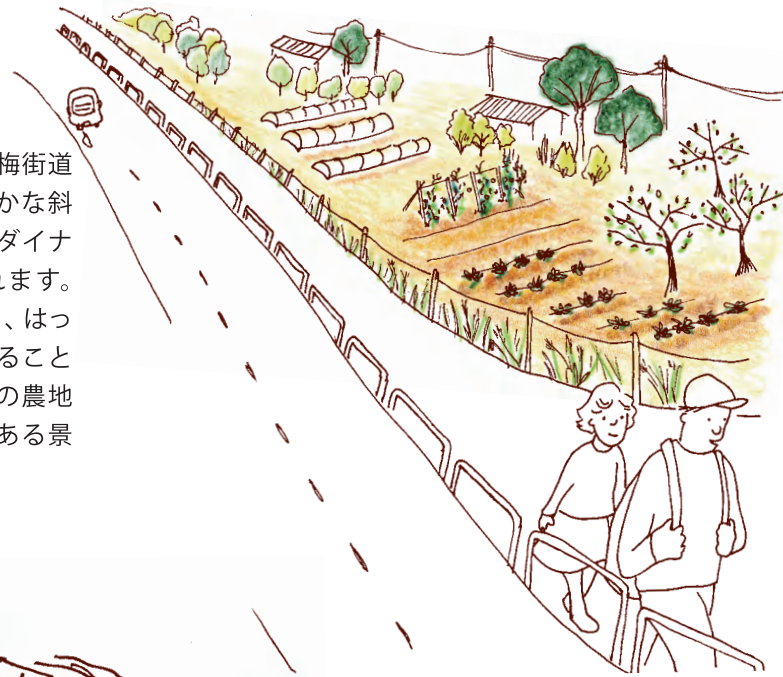
千川通りを拡幅する際、デザイン提案などの住民参加のもと道路の整備が進められました。

歩道上には、自転車レーンが設置されています。縁石の色や植栽を工夫し区分を明確にすることで、歩行者も安心して歩くことができます。脇には、拡幅で消失した緑道から移植した樹々が並びます。

ポイント

10 斜面地に広がる畑

石神井川から新青梅街道を越えると、なだらかな斜面地に農地が広がるダイナミックな景観が現れます。視界を遮るものもなく、はっきりと地形を見て取ることができます。これらの農地は、練馬らしい農のある景観の舞台のようです。



ポイント

12 虫や鳥や蝶が憩う森 (関町北五丁目緑地)

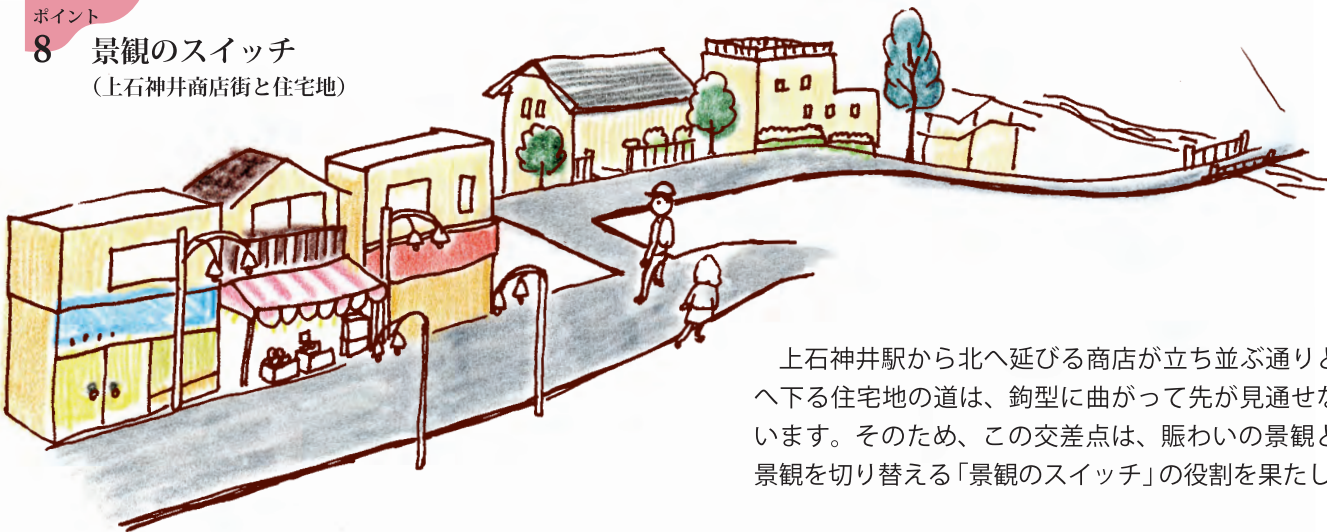
背の高い大きな木々が生い茂り、希少な森の雰囲気味わえる緑地です。様々な鳥や蝶々に出会うことができます。中を通り抜けることもでき、四季の風情を楽しみながら散歩を楽しめます。



森の雰囲気が味わえる緑地

ポイント

8 景観のスイッチ (上石神井商店街と住宅地)



上石神井駅から北へ延びる商店が立ち並ぶ通りと石神井川へ下る住宅地の道は、鉤型に曲がって先が見通せなくなっています。そのため、この交差点は、賑わいの景観と住宅地の景観を切り替える「景観のスイッチ」の役割を果たしています。